

二〇一九年度 直前公開模試 適性検査Ⅰ
模範解答例

〔問題一〕

気心が一致して人が集まるのが団結、あるいはチームとみる

考え方

(二十七字)

一から十まで気心や考え方が一致しないと団結やチームではないとする

考え方

(三十二字)

〔問題二〕

欧米式の社会に比べて、はるかに温かく、人情的なこと。

(二十六字)

人と人が温かく折り合い、愛が結び付いていること。

(二十四字)

〔問題三〕 模範作文例

文章Aでは違った考えの人が共通点を見出し寄り合うことで、計り知れない団結の力を発揮するチームを作ることができるとあり、文章Bではその場の全体的雰囲気も素早く察してうまく適応できる、日本人の温かく折れ合った「和」について書いてあった。どちらも集団をつくる際に大切なことだと思う。

その上で、私はお互いを刺激しあえるチームを作りたいと思う。文章Aにもある、違った考えの人々が共通点を見出して集まるのであれば、お互いを参考にすることができるとし、そこで争いを起こさないように、文章Bの「和」を心がけるのであれば、チームとして結束力の強い集団となり、より高みを望める団体となると思うからだ。

これからの学校生活で、私たちは様々な考えを持った人たちと出会っていく。そこで刺激しあえる集団を作れば、自分たちを高めていくだけでなく、将来の貴重な財産にもなっていく可能性もある。そのためにも、違った考えなどを柔軟に受け入れられるような姿勢を身につけていきたい。

(431字・20字×22行)